



今金町農業協同組合

No. 431

平成23年5月

今金町農業協同組合第43回通常総会



4/6 今金町協同組合 第43回通常総会開催

今金町農業協同組合 第43回 通常総会開催

今金町農業協同組合第43回通常総会が4月5日今金町民センターで開かれ、平成22度事業報告・平成23度事業計画・第9次今金町中期経営計画など全議案が承認されました。（議長団には末藤春義氏（田代地区）と中野公郎氏（八東西地区）の両氏が選出されました。）

議案審議が進み、午後からの議案第2号から議案第5号まで質疑では仁木儀一農協青年部長から「道南4JA合併についてですが、昨年の総会時の組合長の発言ですが、1年かけて



より多面的な資料作成の為であり夏頃にはこの資料の整理がされると思います。また進捗状況等ですが理事会においても協議しておりますが、夏頃に整理された資料をもとに充分検討させて頂きながら秋頃より方向性を出し、組合員の皆さん意見を聴衆しながら協議・検討頂きました

内容としては、理事会で協議しあるべき方向性を出し、組合員皆様と議論の場を持ちたく思っています。併せて当JAの組織であります青年部・女性部・部会・事業推進協議会等の組織にも提言されておりましたが、検討期間が12月末に延びた理由と、いま現在の進捗状況を教えて頂きたいと思います。また、「昨年の総会における組合長の発言では、合併となると平成24年上旬予定との事でしたが、今回1年延期された事により合併時期も1年先を視野に入れているといふことですか」と発言がありました。これに対し細川組合長より「延びた理由につきましては、道南組合長会として4JAの常務・参事を中心に協議を進めておりますが、財務を含めた

JAへの女性参画を」

なりますので、今後の議論の経過をみながら設定出来ればと思っております。」との答弁がなされました。これに対し仁木青年部長からは要望として「我々青年部は部員66名、平均年齢も20代後半と若い組織であり、これから20年・30年と息長く農業をして行きたいという志を持った仲間が集まっています。将来のビジョンを明確に持ちながら営農して行きたいという気持ちで開示できるものは隨時我々組合員に情報公開して頂きたいです」との発言がありました。

また鈴木幸子組合員（豊田地区）からは「国の方針として、男女共同参画が推進されています。JA全中でも、独自の目標を持つて活動されている状況にあります。私達女性は農業経営者のパートナーとして農業に従事し、當農と暮らしを担つております。その中で女性が働くより良い環境を作るために、JAの企画・運営に参加し、意見を言える場を設けて頂きたく前向きに検討をお願い致します。」

目標を定めて進める事が必要となりますので、今後の議論の経過をみながら設定出来ればと思っております。

と意見があり、細川組合長から「営農に携わる女性の割合は高くなっています。北海道農業についても「女性の参画なくしてJAの発展はない」と言われますように、重要な役割を果たして頂いている事に対し御礼を申し上げます。農協組織においても農業委員・農協役員に女性部等からの女性登用もされており、発言の主旨つきましては「ごともだと思ひます。今金農協の課題について女性部組織を通じて女性の目線での知恵もお借り

したいと思つております。女性を含めた組合員が主体でありますから、多くの事を聞き事業に反映して参りたく、声掛けをして頂ければ出来るだけ参加し見て頂ければ出来ることを思つて見交換等の場を持ちたく思つております。」との答弁がなされました。

全議案が可決された後は、「TPPや日豪EPAなど貿易交渉に関する特別決議（案）」が会場満場一致のもと採択され、第43回通常総会が閉会となりました。



意見に答える
細川組合長

大きな拍手で特別決議が
採択されました

人事異動のお知らせ（平成23年4月20日発令）

所属部署・職位	氏名	(前所属部署・職位)
営農部部長	長浜 隆之	(営農部農業経営課課長)
営農部部長待遇調査役	羽土 康秀	(営農部部長)
経済部燃料課課長	芳賀 美由	(金融部融資課課長)
営農部農業経営課課長	佐藤 貴弘	(営農部農業経営課課長補佐)
金融部融資課課長	森川 修	(営農部販売課)
営農部生産資材課係長	阿部 博見	(営農部生産資材課)
経済部店舗購買課係長	岡野 孝	(経済部店舗購買課)
営農部販売課係長	菅原 義高	(営農部販売課)
営農部販売課	尊保 知之	(営農部農業経営課)
営農部農業経営課	山内 拓弥	(営農部生産資材課)
経済部車両課	三浦 雅行	(経済部車両課 嘴託職員)
経済部車両課	卒間 洋樹	(経済部車両課 嘴託職員)
営農部生産資材課	児玉 悠嗣	新規採用者
営農部農業経営課	前田 光	新規採用者

今金小学校・美利河小学校の児童へ補助教材を贈呈



自然の中で元気にのびのびと成長する
美利河小学校の児童たち



今金小学校では、校長室で贈呈が行われました。
(右：小田島専務理事)

当JAの小田島親守専務理事が、4月20日に今金町小学校、4月28日には美利河小学校を訪問し、JAバンク食農教育応援事業の活動の一環として補助教材をそれぞれ校長先生・児童らへ手渡され、美利河小学校では

廣田翔吾くん、久保田匠くん、樋口陽斗くん、田邊和敬くん、石倉啓聖くん、東ジョンくんにそれぞれ直接手渡されました。

冊子は非常に良くまとまり、分かりやすい内容となつていて既存の農業体験学習活動、学校給食の地元食材使用等とも併せて活用することで子供達への農教育の充実が期待されます。

「食」とこれを生み出す農業、環境と農業の関わり、さらに安定した食の供給のための流通や農産物価格の決め方などについて総合的に学習することを目的に作られており、農業に対する理解を多面的に広げてもらおうというのが狙いです。



道南地区女性協議会の様子



新旧役員あいさつ

青年部・女性部だより

3月1日道南地区農協青年部協議会の第57回通常総会が道南農業会館で開かれました。総会開催前には中央会札幌支所の伊藤謙二次長を講師に迎え農政諸対策について学習し、役員改選では今金町農協青年部新部長の仁木儀一郎部長が監事に選任されました。また、協議会副会長を

務めた油家正吉前部長は任期を終え退任となりました。3月25日にはJA道南地区女性協議会の第54回通常総会・部員研修会が北斗市農業振興センターで開かれ、役員改選では今金町農協女性部の岸幸子部長が監事（2期目）として選任されました。

豊穣を

祈願して

地場農産物 を加工・販売



4月6日、今金八幡神社において豊穣祈願祭がとり行われました。

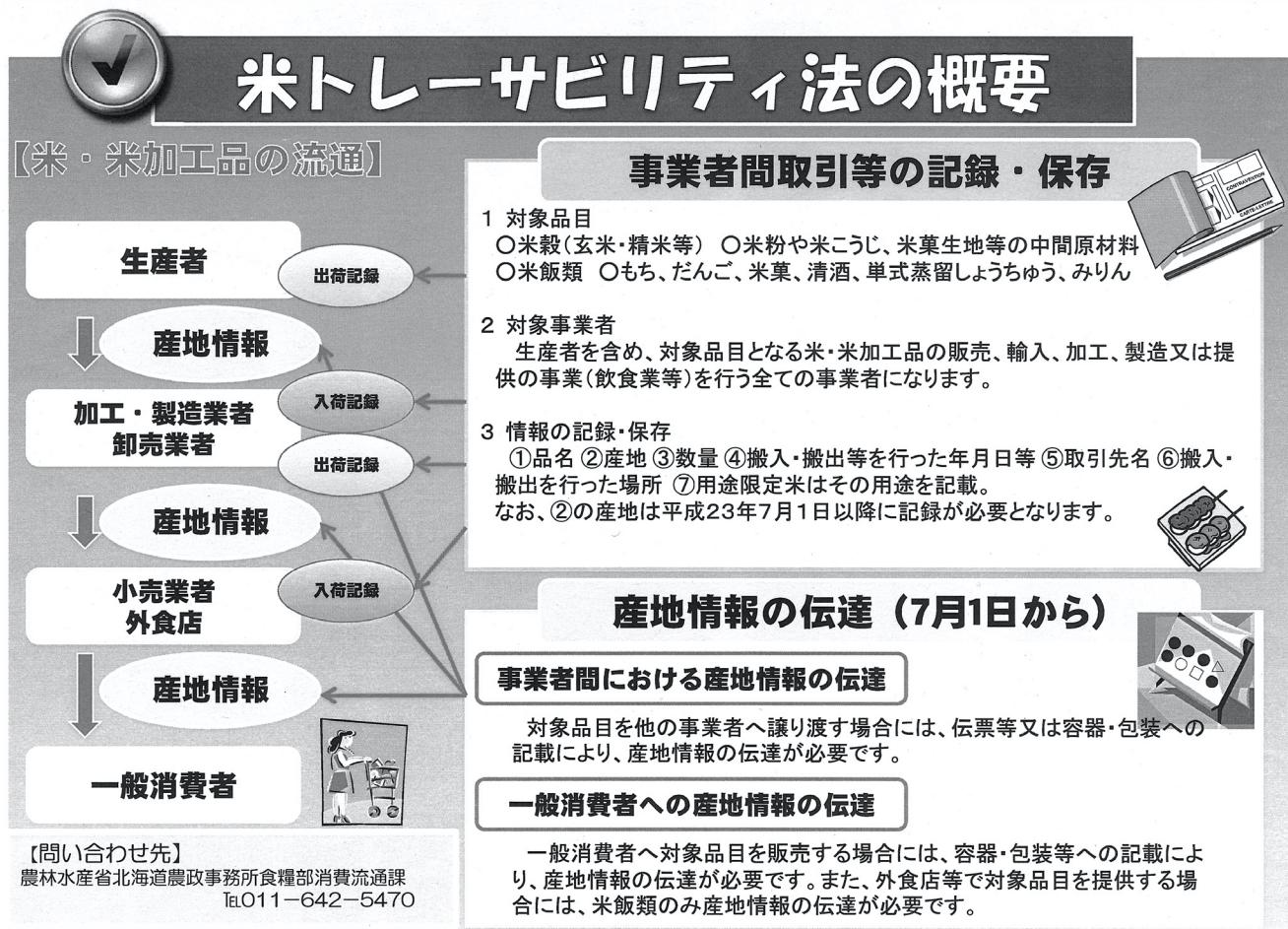
当日は快晴で天候に恵まれ、豊穣を願う祈願祭を行うには絶好の日和となりました。理事者ほか各部部長が参加し、厳かな雰囲気の中で「今年の秋も豊作を迎えるように」との願いを込めて祈願が行われました。

2月11日と3月18日に、今金

町農協女性部の加工グループ「夢工房 手作りの味」の皆さんがAコーナーいまかね店の店舗入り口で、地場農産物を使用した加工品の販売を行いました。

販売した品目は「いもだんご」「べこもち」「漬物」など。夢工房は平成21年に本格的に販売を開始し今年で3年目をむかえましたが、どの商品も既製品とはひと味違う、やさしい手作りの味で大好評でした。

米の「産地情報の伝達」が本年7月から義務化されます



「東日本大震災にかかる JA グループ支援募金活動」

にご協力ありがとうございました。

3月23日～4月15日まで実施いたしました東日本大震災にかかる募金活動ですが、皆様のご協力によりJA今金町を通して募金いただいた総額は270万円となりました。集められた募金はJA北海道中央会で集約し、①JA全中を通じて東北の被災県(岩手県、宮城県、福島県、茨城県等)へ送金するとともに、②道内の漁業団体へ送金いたします。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

募金総額 2,700,000円

皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

今金町農業協同組合 代表理事組合長 細川信一



**最新の営農技術から
農畜産物の市場見通まで**

購読のお申し込みはJAへ
定価1か月 2,450円



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

<http://www.nougyou-shimbun.ne.jp>

食農情報をリードする

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

<http://www.nougyou-shimbun.ne.jp>

**購読のお申し込みはJAへ
定価1か月 2,450円**

● JA今金町 431号 ●
発行／今金町農業協同組合 編集／管理課

平成23年5月1日発行
印刷／(株) 三誠社